

Sunday

7/24

熱気で包まれた

もりあがらナイト2016



多久町の有志が集まったCSOマタキタクナル♪♪主催の野外音楽ライブ、もりあがらナイト2016が、多久市物産館「朋来庵」南側自由広場で開催され、約350人の来場者で賑わいました。

ヒサコフラスタジオのみなさんによる華やかなフラダンスに始まり、県内を中心に活動する疾風BluesBandや、Hello!多久のパーソナリティでおなじみの池田隆臣さん、佐世保出身で全国でライブ活動を行っている古賀直樹さんによるライブが行われ、会場は熱気で包まれました。来場者は、演奏に合わせて踊ったり、一緒に歌ったりして、楽しんでいました。

Thursday

7/21

利用者の声を今後の市報朗読に活かします！

ひまわりの会 交流会

“朗読ボランティアひまわりの会”と声の市報利用者との交流会が社会福祉会館で行われました。ひまわりの会は、視覚障害者へ市報多久を“声”で届ける朗読活動や、子どもたちへの絵本や紙芝居の読み聞かせなどを行っているボランティアグループで、現在15人で活動されています。

この交流会は、3年に1度、日ごろの感想や朗読の改善点などの意見交換を行い、今後の市報朗読に活かすために行われているものです。

交流会では、利用者からは「議会だよりや多久市の歴史本などの朗読もあれば」などの要望もあり、よりよい活動のための意見交換会となりました。

会長の北島文世さんは「視覚障害者や高齢者など、朗読を聞いてくださる人が増えてほしい」と話しました。



▲改善点や意見を交わすみなさん



迫力ある山曳きが圧巻！

熱く盛り上がった「第68回 多久山笠」

Monday

8/15

Tuesday

8/16

華やかに飾られた人形山車2台と提灯山車2台が、お囃子の音色を響かせ、多久駅前的大通りを練り歩きました。多久山笠若衆会が、瞬間間に提灯山車を組み立てる様子は圧巻。提灯山車の巡行では、山車を左右に激しく蛇行したり、回転させたりして、祭りを盛り上げていました。

多久山笠保存会総取締役の鳥井勝久さんは、「もっと多くの人に山車を曳いていただきたい。多久山笠を通して、多久市の賑わいが広がっていくといいですね」と笑顔で話されます。

ステージでは、よさこいソーラン節やバンド演奏が行われ、16日には約800発の花火が上がり、夏の夜を鮮やかに彩りました。